

10月12日（13日の幟立て等作業）の準備作業の内容

雨天の心配はないので、舞殿を資材などの置き場所にしたらどうか

1. 樟立て関係

（1） 樟の仕分け

- ・立てるのぼりを選別（立てないのは箱に戻す）
- ・祭礼原に立てる（市場常会用）樟を分ける

（2） 金具と塩ビパイプ

- ・金具を必要数だして、市場常会用（4個）とその他（28個）に分けて置く
(ナット径32ミリが締められるスパナを3つ用意する)
- ・塩ビパイプをネジ止め
- ・塩ビパイプを市場常会用（2個）とその他（14個）に分けて置く

（3） 竹の先端の径の確認

- ・竹の先端が塩ビパイプに入るか確認する（入らないのは除外→とんど用）
- ・16本を用意する

2. 注連縄張り関係

（1） 大注連縄のA班、B班用に

- ・取り付け資材（青竹、針金など）を分けて置く
- ・紙垂も同様（祓い殿で取り付ける？）

（2） 小注連縄のD班とE班と祭礼原（市場常会）用に

- ・取り付け資材（青竹、針金など）を分けて置く
(ササ付き青竹は、現置き場から各班に持って行ってもらっても良い)
- ・紙垂（縄に巻いてホッチキスで止める）も同様に分けて置く

3. 帳場作り関係

神輿倉から資材を取り出し、まとめて置く

4. 配置表などの配布

各班の資材置き場に「作業分担計画」、「神社境内図」、「樟の種類と設置位置」、「注連縄の種類と本数」を2部ずつ置く

5. その他